

その他の建築工事業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	自宅から、道具その他を取りに寄ってから、会社まで向かう予定で自宅を出発し、交差点の信号が赤のため停止し、青に変わったので発信しようとしてスリップして転倒し、右ヒザを負傷した。	29	—
2	16~17	T形道路で国道を青信号で走行中、市道から一時停止をせず出て来たため出会い頭に衝突し、反対車線を信号柱に衝突し、左足を骨折した。	45	—
2	7~8	軽トラックで現場の個人宅に向かう途中、点滅信号赤で歩行者有りの為、停車していたところ、水産物地方卸売市場より駐車場を通り道路に出て右折した2t保冷車が後ろから追突した。（軽トラックは運転者と同乗者、計2人。）停車中の後ろからの追突人身事故100：0で過失0である。	39	1~9
3	7~8	交差点にて赤信号で停車していたとき（会社より改修工事現場に向かっている途中）、後ろからきた車がスリップをして止まりきれず衝突し、頸椎・腰椎・前胸部を負傷した。	46	1~9
3	11~12	現場へ向かう途中、反対車線へ飛び出してしまう、対向車と衝突した。（過失割合は本人が100%）	50	1~9
3	16~17	現場から会社に戻る途中、優先道路を20~30キロの速度で走行していたところ、相手が一時停止せず走行してきたため衝突してしまった。その際、車は民家の壁と相手の車に挟まれ停止し、エアバッグが作動したが胸を強打して骨折した。	40	10~29
4	6~7	会社車庫を出発し構内の作業現場に向かう途中、追い越し、反対車線の車輛と衝突し、助手席に同乗していて負傷した。	55	1~9
		会社車庫を出発し構内の作業現場に向かう途中、追い越し、反対車線の車輛と衝突		1~

4	6~7	し、後部座席（助手席の後）に乗車していて負傷した。	50	9
5	9~10	顧客宅から会社へバイクで移動中、前のトラックが減速したのに合わせてブレーキをかけたところ、フロントブレーキを強く掛け過ぎ、前輪タイヤがスリップし転倒した。	42	10~29
5	8~9	10tダンプ搬出時に、搬出口右側の誘導員が後方の自転車を確認し「ストップ」と声を掛けながら、10tダンプ正面右前輪側へと接近した。10tダンプ運転手は窓を開けていたが、その誘導員の声と存在に気付かずに前進し、10tダンプ正面右前輪が誘導員の右足に乗り上げた。	32	30~49
6	16~17	工業の資材置場から自家用車で会社事務所向かう途中、青信号で交差点に進入したところ、左手より信号無視の車が交差点に進入し、衝突した。相手方は赤信号での進入を認めている。	67	10~29
6	15~16	2tトラックで廃棄物を運搬し、帰宅中に交差点内において右折しようとした際、直進して来た対向車と接触し、負傷したものである。	46	1~9
7	16~17	回収した資源物（ペットボトル）を処理施設に移送するため、飛散防止ネットを装着する際足を滑らせトラックの荷台から落下し、頭と腰を打撲した。	46	1~9
7	18~19	会社の道具を買いに店にバイクで向かう途中、交差点で車と接触した。	59	1~9
7	6~7	建築工事に使用する鉄筋を元請所有の加工場で加工するため、事業主及び、労働者3名が自家用車（ライトバン）に同乗し、進行方向左側に車両が逸脱し、ガードレールの端部に衝突した後、道路脇の川に転落した。当日未明まで大雨が降っていたことから、増水しており、車ごと流されてしまった。	19	1~9
7	6~7	建築工事に使用する鉄筋を元請所有の加工場で加工するため、事業主及び、労働者3名が自家用車（ライトバン）に同乗し、進行方向左側に車両が逸脱し、ガードレールの端部に衝突した後、道路脇の川に転落した。当日未明まで大雨が降っていたことから、増水しており、車ごと流されてしまった。	25	1~9
		建築工事に使用する鉄筋を元請所有の加工場で加工するため、事業主及び、労働者3名が自家用車（ライトバン）に同乗し、進行方向左側に車両が逸脱し、ガード		1~

7	6~7	レールの端部に衝突した後、道路脇の川に転落した。当日未明まで大雨が降っていたことから、増水しており、車ごと流されてしまった。	29	9
7	13~14	自家用車を運転中、車両を左側に寄せたところ、ガードレールに接触し、左足を負傷した。（仕事終了後に、次の現場がまだ開始前ではあったが、仕事道具を次の宿舎へ会社の指示により運んでいる最中であった。）	31	10~29
7	13~14	営業活動による運転中、居眠りによりガードレールに突っ込み、事故を起こした。その後、外傷性の肺気胸が発症し、入院することになった。	25	100~299
7	14~15	廃棄収集運搬後の帰社途中、交差点にて、信号待ちで停車している大型トラックに後方から追突した。	59	10~29
9	7~8	資材置場から2t平トラックで足場材運搬時に、料金所手前のカーブで車がスリップし、車両右折部が壁面に衝突した。その際、助手席の資材運搬補助者（18歳）が負傷した。原因は、雨の為、車がスリップしたものである。	18	1~9
9	18~19	前のトラックが急ブレーキをかけた。自分が運転していたダンプも急ブレーキをかけたが間に合わず、前のトラック荷台に衝突し事故となった。	43	10~29
9	6~7	被災者は、所属会社で社用車に乗り合わせて2名で現場に向かっていた、自動車道下り線を走行中に、前方にトラックが割り込んできた為、運転手が急ブレーキをかけたところ、社用車がスリップして、道路左側のコンクリートに激突した。尚、被災者は後部座席でシートベルトを装着していたが、腰を前方にずらしており、正しい装着状態ではなかった。	43	50~99
10	9~10	本社より加工場へ行く為に会社の普通乗用車で走行中、交差点で左側より衝突（追突）されて、右側法面に乗り上げた。その衝撃で負傷した。相手の車が一時停止を無視した。	46	1~9
11	7~8	会社へ出勤後、会社の車（軽トラ）で現場に行く途中、交差点において出会い頭の衝突事故に遭い負傷した。	46	1~9

12	6~7	一般宅の外構工事の為、同僚を乗せて現地に向かう際、渋滞中に停止した所、後方より追突された。	31	1~9
12	9~10	出張作業に向かう為、会社所有車を運転中、交差点（信号なし）で一旦停止を見落とし、交差点内で、右方向から進行のトラックに衝突し、負傷した。過失割合は100%と思われる。	50	1~9
12	8~9	敷地より県道へ出るため一旦停車中に、道路を逆走して歩道に進入してきた車両に左側から激突された。	27	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html